

会 議 録

会議名	令和4年度 第6回 大野北地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512			
開催日時	令和4年11月29日(火) 18時30分～20時00分			
開催場所	大野北公民館 大会議室			
出席者	委員	22人 (別紙のとおり)		
	その他	7人 公民館長代理 都市計画課長、他5人		
	事務局	2人 まちづくりセンター所長、他1人		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 3人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 地域活性化事業交付金の申請について</p> <p>(2) 大野北地区まちづくりを考える懇談会</p> <p style="text-align: center;">「地域の未来を語ろう with 市長」の振り返りについて</p> <p>(3) 淵野辺駅南口周辺のまちづくりにかかわる</p> <p style="text-align: right;">基本計画の素案について</p> <p>3 出席委員からの情報提供</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次回日程について</p>			

審 議 経 過

1 あいさつ

山口会長よりあいさつ（以後進行は山口会長）

2 議 題 （○は委員の発言、 は市の発言）

（1）地域活性化事業交付金の申請について

「伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業」

・交付金申請団体より事業内容、「なまはげ」によるパフォーマンスと「なまはげ太鼓」についての説明がされ申請が認められた。

（2）大野北地区まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろう with 市長」の振り返りについて

・資料に基づき事務局より懇談会当日の懇談結果を説明した。

懇談会当日には用意していた質問を全て質問できなかったもので、この後の議題「淵野辺駅南口周辺のまちづくりにかかわる基本計画の素案」の説明の後に、質問できることを説明した。

（3）淵野辺駅南口周辺のまちづくりにかかわる基本計画の素案について

・都市計画課より資料1に基づき、基本計画策定に向けた方向性、目的、概要を説明したのち、平成29年度の基本計画案と新しい基本計画案において、まちづくり・鹿沼公園・公共施設に関する内容を比較しながら修正内容を説明した。

○コンセプトは大事と考える。「目的がある人、現在活用している人も」重視してほしい。要望です。

諸室の機能や利用方法などは今後の検討となっているが、複合化された施設での諸室の配置が分かる資料はいつ頃出来上がるのか。出来上がったら確認させてほしい。

ユニバーサルデザイン対応となっているが、公園入口を車イスの人が通れるように対応をしてほしい。

車イスの件については、公園のリニューアルに合わせて検討させていただく。

諸室については、具体的な内容は公民館の運営協議会などへ出向き説明し、意見を伺いながら、また、現在の利用実態を踏まえながら、現在活動されている人が引き続き活動できる場を提供していきたい。

○当初のコンセプトは「にぎわい」と「やすらぎ」で分かりやすかった。

本計画では「パークフル」「ウォークブル」「リバブル」となった。文言は大事と考えるので、一般市民が理解しやすいようなコンセプトを明示したほうが、理解を得られるのではないかと。

本計画のカタカナ表記も残しつつ、わかりやすい、親しみやすい表現を付け加えてほしい。

和製英語等で語呂が良いが、分かりにくいという意見もいただいている。日本語として分かりやすい表記を検討する。

○カッコ書きで日本語を併記してほしい。80歳代には分からない。カッコいいかもしれないが、年代によっては理解してもらえない。

○野球場側の道路は狭くて、自転車などの交通が危険。どのような計画が検討されているか。

朝に自転車、歩行者、自動車について交通量調査を実施している。結果を踏まえて委託業者等の意見を聞きながら検討をすすめていく。

道路の拡幅は難しい、公園側を削って道路のようなものを整備することも考えられるが、費用対効果を含めて今後検討していく。

○事業費について、駅前市有地の売却・貸付による財源確保とあるが、売却・貸付をしないと財源が確保できないのか。

別に財源があるから大丈夫といった書き方にはならないのか。

物価の高騰などもあり、当初の計画時と比べて事業費は増加すると考えられる。市の財政状況も厳しいので、事業の内容の精査、国の交付金、起債、土地の有効活用を行い、財政負担の軽減を図っていきたい。

○政令市ということで国から補助金がもらえないのか。

複合施設に対する補助金は、政令市だからということで特別なものはない。

○今後、基本計画案が出来た時に意見や要望を行える時期はいつか。

どの時期で正式な決定として進んでいくのか。

スケジュールの見通しはどうなるのか。

基本計画案の公表後はパブリックコメントを予定しており、そこでご意見をいただくことができる。加えてオープンハウスの実施やまちづくり会議、団体からの要望があれば説明や意見を求める場を設けていきたい。

正式なスタートは、基本計画ができた時になる。

○スケジュールを出して欲しい。いつから着工するのか。

基本計画 修正素案 63 ページに、今後のスケジュールを記載している。

具体的には、令和4年度に基本計画策定、令和5年度に導入可能性調査、大規模事業評価、令和6年度にアドバイザー業務委託、令和8年度から設計、工事等を予定している。施設が使えるまでおよそ6年間を想定している。

○跡地利用の関係。建物が完成しないと跡地利用はできないが、それから跡地利用を計画するのでは間に合わない。跡地利用のスケジュールを考えてもらいたい。平行して考えていかないと、財源の目途がつかないことになって計画が頓挫してしまう場合もあるのでは。

市民検討会で跡地利用については、市民の意見を十分に聞いて、ゆっくり考えましようとなっているが、地域としてはゆっくり考える暇はないのでは、跡地もしっかり考えないと次世代に引き継げないのではと考える。

また、防災の拠点とした観点から防災公園といったものを作ってほしい。電気、水、排水の確保。

複合化で縮小される共有部分のトイレなどは、防災の観点から余裕をもった設計にしてもらいたい。まちづくり会議として要望したい。

跡地利用については、来年度から検討していく。その中で地域の方にも跡地のこと、自転車駐車場再整備のことについて、市の考え方をお伝えして、ご意見を頂きながら進めていきたい。

公園の防災機能については、基本計画 修正素案 36 ページに記載している。

トイレについては、建物に想定数以上のトイレを設置することも防災機能の一つの手段と考えるが、発災時のときに必要なトイレであれば、災害用トイレという手段も考えられる。手法は色々あると思われるので、今後検討していく。

○児童館の件、一体化は良いことだと考えるが、図書館、公民館、青少年学習センターが一体になって、本当に図書館が問題なく機能するのか疑問に思う。

大野北公民館は、他の施設では活動できないような大きな音を出すサークルが多くある。そのような中で、児童館が一緒になって問題なく運営が出来るのか。

児童館という建物の中で子どもたちが利用しない午前中、夜は空いている。ただし昼間と土日は子どもたちが使う。かなりのスペースが必要となる。一階が図書館だとして、2階、3階を公民館、青少年学習センターが使う。本当に使えるだろうか。

図書館は今のよう貸し出し中心ではなく、静かにゆっくりと本を読める、大和や海老名の図書館のようになるのだろうか。

複合化された児童館で、今までのような子供たちの動きができるのか。

説明では良いことが書かれている。すぐ下におりれば図書館がある、外に出れば公園がある、子どもたちには広い公園で遊んで欲しいが怪我をしたらどうなるのか、指導員が対応できるのか。

あさひ児童館は今の場所でいいと思う。デベロッパーに売るにしても、児童館の土地を一部拡張してその残りを売ればいい。児童館が真ん中にあるならまだしも、隅っこにあるのでその部分だけを残しても売れるのではないかと思う。

市長からは遅くなると言われた、自分は遅くなってもいいと考える。相模原駅の返還地に図書館が出来るのではと思ったので早くやってほしかった。

しかし、実際はいつまでたってもやらない。やらないのであれば2、3年先になってもいいので、本当にすばらしいものを作ってほしい。

児童館が複合化することで、公民館や他の施設にどれだけ影響するのか、部屋の詳細は後回しというが、ある程度、考えないといけないのではと考える。

○老人についての内容が抜けている感じがする。

若者だけではなく、全ての世代の方が利用できる施設にしたいと考えている。

○まちづくり会議としては、あさひ児童館を複合化せず存続させてほしい。公民館を取り壊した後は、あさひ児童館の土地を広げて園庭を作るということで考慮してほしい。

図書館でゆったりと座れて、勉強ができる。好きな読み物ができる。そういう施設にしてほしい。

○文言を大事にしたいと思う。テーマの「ちょうどいいまち 淵野辺」とはどういう意味か。どういう淵野辺にしたいのか。ちょうどいい淵野辺になりましたと言いたいのか。例えば「市民の誇れるまち 淵野辺」といった文言にしてほしい。

また、コンセプトの「目的がある人もない人も」とは、どういう人なのか。よく分からない。すべての人が気軽に利用できる公園のような施設なのではないか。検討してもらいたい。

あさひ児童館については、運営に携わっている方々からお話を伺い検討してきた。玄関が道路に面して安全面での不安や、屋外で遊べるスペースがないといった課題がだされた。

一方で、複合化されることで相乗効果が期待できることから、複合化したほうが児童にとってより良い環境になると考えている。

テーマやコンセプトについては、市民検討会の検討結果やオープンハウスの結果などを踏まえて設定したもの。先ほどの「市民の誇れるまち」という言葉は、基本計画修正素案の23ページに記載の今回のテーマを説明する本文中に追加するなど、これまでの検討過程で込められた思いも含めてまとめていきたい。

あさひ児童館についてご心配いただいていることが分かった。複合化されることで今までにない問題が生じると考えられるので、一番に安全、安心を確保しなければいけない施設として考えていきたい。その上で、施設の配置、動線、運営方法などを工夫し安全、安心を確保していきたい。今後、詳細な計画を進めていくが、折に触れて、状況をご説明し意見交換をさせていただきたい。

○全体を見ながら検討していければと思う。

3 出席委員からの情報提供

12月1日 「星空を見る会」の開催が紹介された。

4 その他

(1) 次回日程について

次回は、令和5年1月31日(火)午後6時30分から開催予定と事務局から報告。

5 閉 会

小川副会長が閉会

以 上

令和4年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	長谷川 文代	大野北地区交通安全母の会	出
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	出
11	佐久田 ロサマリア	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	欠
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	出
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	岡部 尚紀	小学校	出
16	古屋 礼史	中学校	出
17	安部 智	小・中学校PTA	欠
18	三條 久美子	青山学院大学	出
19	山岸 優之	桜美林学園	欠
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
23	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
24	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出